



連携事例34

R5.8 更新

初夏のアクティブフェスティバル



フェスティバル会場全体の様子

■協働パートナーの種別



■事業運営団体

【主催】東神開発 株式会社

■協働パートナー

【共催】流山市民活動推進センター

【協力】NEC グリーンロケッツ東葛 2 団体

■事業費

50 万円

■資金調達手段

運営側出資

事業概要

楽しみながら市民活動に触れ、地域コミュニティの活動を知ってもらうことを目的に、地域交流イベントを6月24日に開催。

流山市の中心となるおたかの森ショッピングセンター前のスペースを活用し、市内で活躍する市民活動団体を中心に、さまざまな団体による活動紹介や体験ブース、ステージパフォーマンスを披露。

協働までの経緯

東神開発(株)と市民活動推進センターの両者は、それぞれに『地域コミュニティ形成』を別々の切り口から考えていたところに、お互いの長所を活かしたイベント企画に至った。

これまでの実績から、地域貢献活動に積極的な NEC グリーンロケッツ東葛への協力要請し、趣旨を理解され、3者協働に至った。

主な事業内容(年間スケジュール等)

① 令和6年1月(日程調整中)

※協議により開催テーマを選定のうえ詳細告知予定

主な協働パートナーとの役割分担

【東神開発(株)】

イベント内容の企画、会場設営及び管理、機材や設備業者の対応、係員の配置など。

【流山市民活動推進センター】

イベント内容の企画、参加団体のサポート、参加団体の配置及びスケジュール調整など。

【NEC グリーンロケッツ東葛】

市民との交流競技の企画・実行。

会場内の導線確保のための案内サポート。

協働事業によって生まれた成果

- ・協働3者が持っている得意分野（物的・人的・知名度）を活かしたイベント（活動）となった。
- ・各参加団体及びセクションごとの延べ人数ですが、11,000人を超える来場者があり、世代を超えた交流が新たに生まれた。

今後力を入れていきたいこと

○産学官民連携のプラットフォーム構築

→そのための大学等との連携促進に現在も少しずつ取り組んでいる。



コラボのコツ!!

★コツ1 目的の共有

★コツ2 協働団体での準備打合せの徹底

★コツ3 得意分野を活かした役割分担

《コツに関するコメント》

共通認識を持った3者が同じベクトルでイベント運営に協働できたことが成功の要因と考える。

また、スケジュールはタイトでしたが、事前準備に時間を割いたことが、それぞれの役割理解に繋がった。

心配なことは当日の天気だったが、関係者の祈りが通じて、梅雨晴れとなった。



協働事例プロフィール

【活動開始年】 2023年

【活動のPR手法】 流山市広報・流山市民活動推進センターSNS など

【この事業で活用した補助金】 補助金活用なし

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】 J-com (TV) でのイベント紹介 (6月20日)

【問い合わせ先】 担当者：須藤 電話番号：04-7150-4355 メールアドレス：na-shimin@machikatsu.co.jp